

川場村防災行政無線整備事業 基本設計及び実施設計調査業務委託質問書の回答

1. Q.現在の役場と新築予定の庁舎の位置関係がわかる配置図を提示願います。

A.現庁舎より100メートル以内の範囲に新築予定ですが、場所については現在未定ですので提示することはできません。

2. Q.放送室・機械室の設置平面図を提示願います。

A.2 ページ目の「平面図」をご覧ください。

3. Q.既設設備は、整備方針となっている J-ALERT 及び携帯電話メール自動配信システムやその他メディア等と連携されていますでしょうか。

されている場合のシステムを提示願います。

A.J-ALERT と連携されております。

システムにつきましては3 ページ目以降の「自動起動装置」をご覧ください。

2. 同報無線自動起動装置

同報無線自動起動装置（型番：VX-4299）

1. 概要

本装置は、消防庁全国瞬時警報システム（以下、J-ALERT）における受信機からの緊急情報により、防災行政無線同報系設備（以下、同報無線設備）への起動制御を行い、あらかじめ録音された音声メッセージまたは消防庁から送られた音声メッセージを防災無線設備へ送出するものです。

2. 機器構成

2.1 構成

No.	機器名/型番	数量	備考
1	同報無線自動起動装置/VX-4299	1	

2.2 予備・付属品

No.	名称/型番	数量	備考
1	CFカード	1枚	本体実装
2	AC電源ケーブル	1本	VM1182/VM1289(3m)相当
3	予備ヒューズ	4個	F-7142_3A相当
4	配線用D-Subコネクタ	2個	DE-9P-NR相当
5	配線用D-Subコネクタカバー	2個	DE-C8-J9-B5-1R相当
6	19インチラック取付金具	1組	EIA/JIS仕様兼用、ネジ付き

3 機器の機能

3.1 入力情報

(1) J-ALERT 受信機からの通報番号情報

- ①国民保護情報（ゲリラ等による攻撃、航空攻撃、弾道ミサイル攻撃、大規模テロ）
- ②誤報キャンセル
- ③緊急地震速報（震度 4～7）
- ④津波情報（大津波警報、津波警報、津波注意報）
- ⑤震度速報（震度 3～7）
- ⑥東海地震観測情報、東海地震予知情報、東海地震注意情報
- ⑦火山噴火警報（噴火警戒レベル導入火山用、噴火警戒レベル未導入火山用）
- ⑧気象警報・気象注意報
- ⑨将来用（指定河川洪水予報、土砂災害警戒情報、記録的短時間大雨情報、竜巻注意情報）

3.2 音声登録機能

- (1) 消防庁の標準メッセージ例に応じた音声ファイルを出荷時に標準搭載します。
- (2) コンパクトフラッシュ(CF)カードにて音声ファイル（*****.wav）を本装置に取り込み登

録することが可能です。

(3) 音声ファイルは、最大 512 個、合計 512 分までの登録が可能です。

3. 3 同報無線自動起動機能

(1) J-ALERT 受信機より通報番号を受信すると、あらかじめ設定した放送条件により自動または手動確認操作にて同報無線設備を起動し、音声メッセージを送出します。

(2) 消防庁標準の放送条件をデフォルトとして標準搭載しています。

3. 4 放送条件設定機能

(1) ひとつの放送条件に、録音登録済みの音声ファイルを最大 15 個まで、組み合わせて再生させるように登録が可能です。

(2) 各放送条件の設定項目は、以下の通りです。

- ① 放送条件の有効/無効
- ② 自動放送/手動確認放送
- ③ 優先順位 (1 ~ 10 位)
- ④ 通報先グループ (最大 12 グループ)
- ⑤ 音声メッセージの組み合わせ (メッセージ 1 ~ 15 まで)

(3) 気象警報および気象注意報は、項目毎(暴風雪、大雨、洪水、暴風、大雪、波浪、高潮等)に放送有無を指定することが可能です。

(4) 気象警報および気象注意報は、一定時間内に同じ警報または注意報を再放送しない設定が可能です。

(5) 指定した時間帯に、あらかじめ設定した優先順位以下の放送をしない設定が可能です。

3. 5 同報無線設備起動制御機能

(1) 同報無線設備の起動信号パターンを 8 種類標準で装備しており、各パターンのパラメータ(パルス幅や音声送出タイミング及びその他パラメータ)を個々に設定可能です。

(2) 防災無線設備の通報先グループ指定用制御信号を最大 12ch まで出力可能です。

3. 6 障害検知機能

(1) 本装置に発生した以下の障害を検知して、ブザー音および LED 表示にて警告可能です。

J-ALERT 受信機入力障害、同報無線設備起動障害、CF カード障害、その他

3. 7 ロギング機能

(1) 電文受信状況、システムログ、通信ログ、など動作状況の詳細をロギング可能です。

(2) ログファイルは、コンパクトフラッシュから容易に回収可能です。

(3) 本装置が接続されたネットワーク上の端末 PC から FTP にて上記ログを容易に回収可能です。

3. 8 その他機能

(1) J-ALERT 受信機からの電文を利用して本装置のシステム時計の時刻校正が可能です。

(2) 音声メッセージの出力レベル調整が可能です。

(3) 本装置の設定ファイルのアップロード及びダウンロードがコンパクトフラッシュにて可能です。

(4) 各種設定はブラウザ画面にて、設定可能です。

(5) コンパクトフラッシュや FTP にてソフトウェアバージョンアップが容易に可能です。

(6) テスト機能により、同報無線設備との起動信号入出力を含めた音声送出連動試験が容易に可能です。

テスト (確認機能) 詳細

①登録済み放送音声 (各情報番号に登録された音声ファイルの組み合わせ) のモニタスピーカによる確認 (同報無線設備の起動及び音声送出は伴いません)

②同報無線設備起動及び音声出力を伴った連動テスト

(7) 独立した出力強制停止用スイッチにより、本装置メンテナンス時の防災無線設備の誤動作を容易に防止します。

4 仕様

4.1 基本仕様

(1) 入力電源	AC100V±10%、50/60Hz±5%
(2) 消費電力	10W 以下
(3) 温湿度条件	+5～+40°C、85%RH 以下（結露なし）
(4) 寸法	430(W)x169(D)x88(H) ※突起部含まず
(5) 重量	約 3.2Kg
(6) 設置方法	机上据置き、19 インチラック実装（EIA/JIS 兼用取付金具付き）
(7) 塗装色	3.5Y8/0.5 半ツヤ

4.2 インターフェイス

(1) J-ALERT 受信機

①プロトコル	TCP/IP ソケット通信、ファイル転送プロトコル(FTP)
②回線	LAN (10BASE-T/100BASE-TX)
③コネクタ	RJ-45
④フォーマット	消防庁「J-ALERT 同報無線自動起動装置仕様書」準拠

(2) 同報無線設備（操作卓 1 台接続時）

①接点入力

・入力数	1 点（最大 4 点）
・入力機能	（起動）応答
・入力方式	外部無電圧接点容量：DC15V 以上、16.7mA 以上

②接点出力

・出力数	15 点
・出力機能	起動、送話、終話、通報先グループ x12
・出力方式	装置内接点容量：DC30V 以下、100mA 以下

③音声出力

・出力数	1 点（最大 5 点、同一音声、同一タイミング）
・出力レベル	0～-20dBm（出荷時-4dBm）
・出力インピーダンス	600Ω±20%平衡

④論理的条件

消防庁「J-ALERT 同報無線自動起動装置仕様書」に定義される、制御手順 1～8 に対応

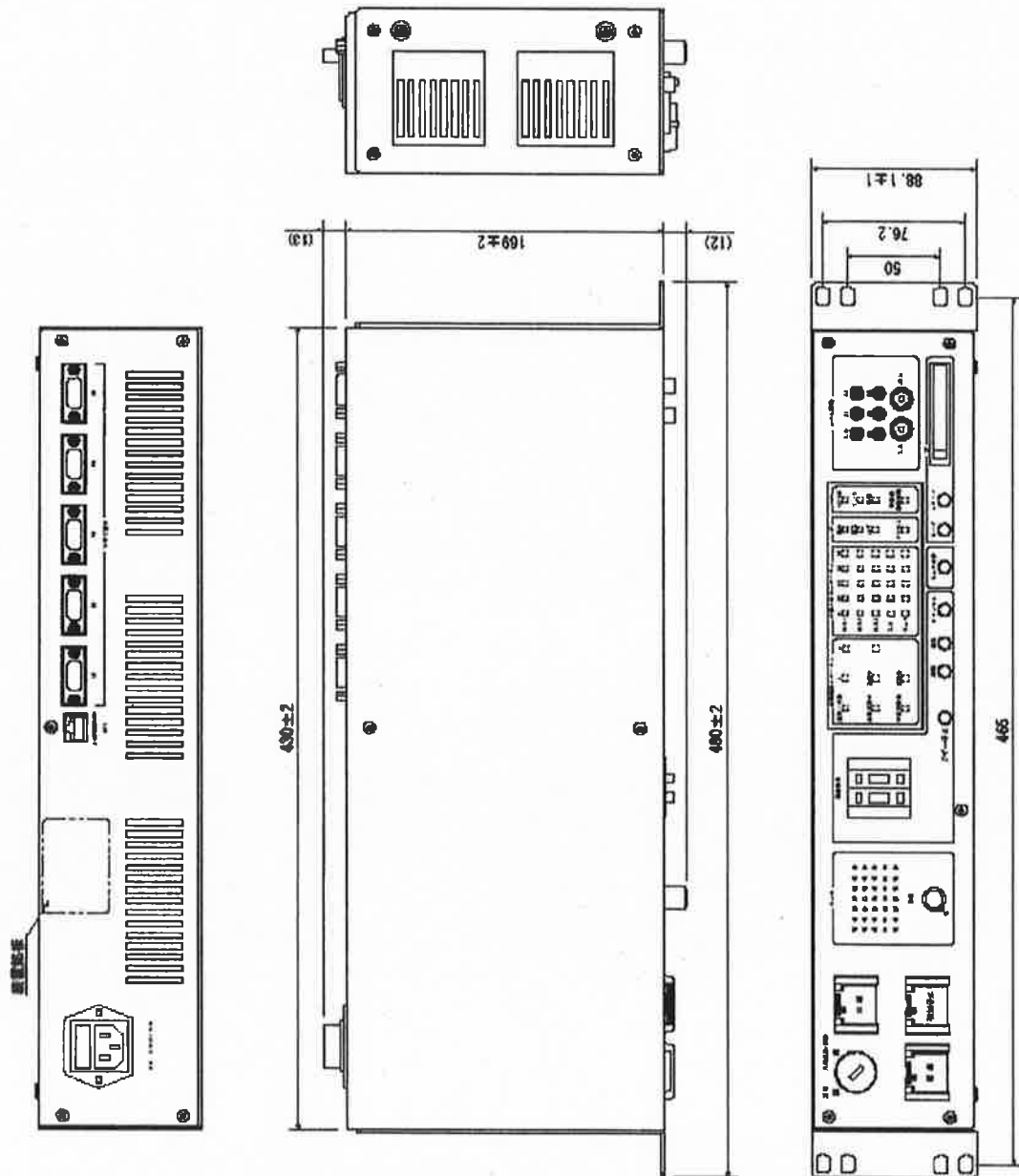
⑤物理的条件

・コネクタ	D-Sub9 ピン、17AE-13090A-9750-HC2-CA (DDK 製)相当
-------	---

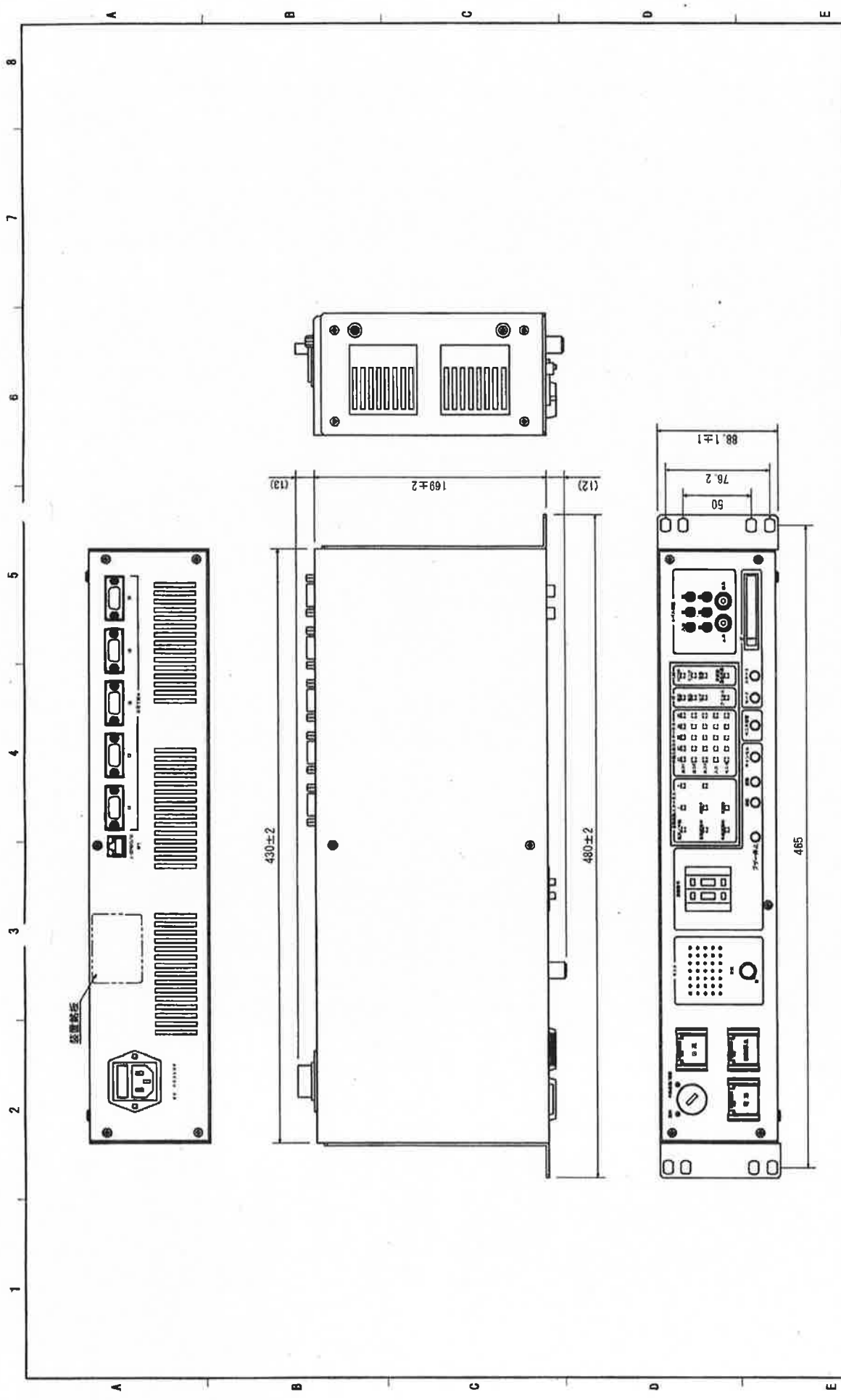
5. 外観図

430(幅)×169(奥行き)×88(高さ)単位 mm

(突起部含まず)



※差込色 : 3.5Y8/0.5半穴



図面番号	装置番号	装置名称	用途
設計	校核	承認	判定
名称: VX-4299 同報無線自動起動装置 外觀図			1 / 2
図番: 3AF1195-4299A1			

※塗装色 : 3. 5Y8/0. 5半光

